

こ の ま ち の
魅 力 と く ら し を
語 り 合 っ て い ま す

みやまえ区民会議2014-2015

中間報告書

第5期宮前区区民会議



はじめに

地域の皆さんが、まちの課題解決を目指して審議する「区民会議」は、平成18年に川崎市各区でスタートし、ことしは第5期の1年目、通算9年目を迎えます。

宮前区区民会議では、これまで「みやまえカルタ」「みやまえ坂道ウォーク」などの制作や、「冒険遊び場」の普及活動、高齢者の見守り活動支援、公園を活用したコミュニティ活動の促進など、さまざまな提案をしてきました。

第5期宮前区区民会議は、平成26年4月に、20名の委員でスタートし、4回の全体会議、3回の準備部会、5回の企画部会を開催してきました。また、2回目の全体会議で発足したふたつの専門部会は、それぞれ3回の会議と、調査活動などを進めてまいりました。

そしてこのたび、任期2年のちょうど折り返し地点となった平成27年3月に、第5期の調査審議経過をまとめる「中間報告書」をつくりました。

専門部会のひとつ「誰もがくらしやすいまちをめざす部会」では、誰もが住み慣れた地域や、その人が望む場所で、安心して暮らし続けることができるまちを目指して、審議を進めていきます。また、地域活動が活発な宮前区らしく、地域住民、公的機関、民間事業者などが連携して支え合う社会を作り上げていきたいと考えています。

もうひとつの専門部会、「みやまえ魅力探訪部会」では、宮前区に数多くある、歴史・自然・文化・名産品などの魅力を再発見し、まちの活性化のために、地域の人々だけでなく、区外・川崎市外にも伝える手段などを探っていきます。

平成27年3月には、区民会議フォーラムを開催。「このまちの魅力とくらしを語り合うフォーラム」と題し、バスツアーやカフェなどの企画も盛り込みました。約60名の地域の皆様にご参加いただき、今後の宮前区区民会議の審議の糧となる貴重な意見をいただくことができました。

平成27年4月からの一年間では、これまでの審議をもとに、地域の課題解決、そして地域住民による自治を目指した提案をするため、審議を進めてまいりますので、皆様もご注目いただき、ご意見などをお聞かせいただければ幸いです。

平成27年3月

第5期宮前区区民会議 委員長
宮崎 孝

もくじ

第1章	私たちが話し合うテーマを決めるまで	4
1	地域課題把握アンケートの実施、発表 ▶P4	
2	課題を絞り込む ▶P4	
3	ふたつの専門部会の立ち上げ ▶P4	
4	各専門部会が審議する主なテーマ ▶P5	
第2章	第5期一年目の歩み	6
1	全体会議などの開催の経緯 ▶P6	
2	企画部会開催の経緯 ▶P9	
第3章	誰もがくらしやすいまちをめざす部会	11
1	これまで審議してきたこと ▶P11	
2	調査活動の報告（コミュニティカフェ視察会） ▶P13	
3	今後一年間の審議の方向性について ▶P14	
第4章	みやまえ魅力探訪部会	15
1	これまで審議してきたこと ▶P15	
2	調査活動の報告（みやまえ路線バス途中下車の旅） ▶P17	
3	今後一年間の審議の方向性について ▶P20	
第5章	みやまえ区民会議フォーラム2015	21
1	企画の概要 ▶P21	
2	みやまえ魅力探訪ツアー ▶P22	
3	語り合いカフェ ▶P24	
4	区民会議フォーラム全体会 ▶P26	
第6章	そのほかの活動報告	27
1	「みやまえ区民会議だより」の発行 ▶P27	
2	区民会議交流会への参加 ▶P27	
資料編		28
1	審議課題の選定と整理の過程 ▶P28	
2	第5期宮前区区民会議委員名簿 ▶P30	
3	みやまえ区民会議だより ▶P31	

第1章 私たちが話し合うテーマを決めるまで

第5期宮前区区民会議は、区内のさまざまな団体などから推薦された委員14名、公募委員2名、区長推薦による委員4名の、合計20名で調査・審議をすすめています。平成26年4月3日、委員が初めて一堂に会した「事前打ち合わせ会」で実施した「地域課題把握アンケート」から、審議を重ね、これから話し合っていくテーマを絞り込んでいきました。

1 地域課題把握アンケートの実施、発表

事前打ち合わせ会では、まず第1～4期区民会議の審議課題や、各期の提案により実施されている取組などを紹介したのち、委員全員が、それぞれの活動や普段の生活を通じて実感する地域課題を出しあう「地域課題把握アンケート」を実施しました。

4月25日に開催した「第1回全体会議」で、アンケートの結果として、8分野からなる48の地域課題について発表し、それぞれの課題を取り上げた委員から詳しい説明を行いました。

2 課題を絞り込む

続いて開催した第1回準備部会では、48の課題それぞれを再度検討、内容が重複しているものなどを整理し、33課題に絞り込みました。この33課題から、委員は2票ずつ投票。第2回準備部会にて、この結果を発表して、33課題を5分野18課題に再編。各課題には、「緊急性」「実現の可能性」「優先度」などの指標を設定し、選定の参考にしました。最終的に、再編した5分野の中から、「高齢者や障害者の孤立防止と生きがいづくり」「歴史を大切に、その魅力を広く伝える」というふたつをメインテーマとすることを第3回準備部会で決定しました。

3 ふたつの専門部会の立ち上げ

第3回準備部会でメインテーマとして取り上げた2分野の課題をもとに、ふたつの専門部会を設立し、それぞれの部会で専門的に調査審議を行っていくこととしました。部会名は「(仮称)高齢者問題に関する取り組みの部会」「(仮称)魅力発信と次世代まちづくりの部会」とし、委員長を除く19名の委員は、いずれか希望する専門部会への所属を決めました(30ページ「第5期宮前区区民会議委員名簿」参照)。第2回全体会議で、各専門部会と、委員長・副委員長・部会長からなる企画部会(当時、部会長は未定であったので、3名で構成)を宣言しました。

のちに、各専門部会は正式名称を決め、それぞれ「(仮称)高齢者問題に関する取り組みの部会」は「誰もがくらしやすいまちをめざす部会」に、「(仮称)魅力発信と次世代まちづくりの部会」は「みやまえ魅力探訪部会」となります。

4.3 事前打ち合わせ会

4.25 第1回全体会議

48の課題を抽出

5.26 第1回準備部会

33課題に整理

6.27 第2回準備部会

5分野18課題

7.30 第3回準備部会

2テーマ選定

8.29 第2回全体会議

2専門部会設立



企画部会設立

4 各専門部会が審議する主なテーマ

第2回全体会で発表し設立が決定した二つの専門部会。それぞれの部会が掲げるこれからの審議テーマ候補は次のようになりました。

このテーマ候補は第2回全体会時点のもので、今後重なる各専門部会の会議や全体会を経て、部会の審議テーマは変化していきます。

誰もがくらしやすいまちをめざす部会

旧・(仮称) 高齢者問題に関する取り組みの部会

高齢化への問題は、宮前区のみでなく全国的なものではありますが、宮前区は「急速に高齢化が進む」一方で、「元気な高齢者（介護認定を受けていない65歳以上のひと）が多い」という特徴があることから、宮前区独自で行える高齢者問題への取り組みを中心に、障害者の社会参加やこども・子育て世代への取り組みも併せて考えていく部会です。

- ▶ 認知症を知り、地域で支えあい、くらしやすい環境をつくる
- ▶ 生きがいを感じることができる居場所づくりの支援
- ▶ 介護、高齢者、障がい者、子育てなどの相談ができるワンストップサービスの提供

みやまえ魅力探訪部会

旧・(仮称) 魅力発信と次世代まちづくりの部会

まちの魅力を発信することで、「観光」の視点からまちの活性化が望めるほか、遺産めぐりや観光ツアー企画などによる商店街との連携など、多くの可能性があります。また、若者世代の宮前区からの流出等は切実な課題であり、これらも含めて、次世代に向けたまちづくりについて考えていく部会です。

- ▶ 区外からも人を呼び込めるような魅力の発見と発信方法を探る
- ▶ 豊かな自然、文化、歴史の財産を「みやまえ遺産」として認定
- ▶ 若い世代も定住できるように、便利で魅力あふれるまちづくり

第2章 第5期一年目の歩み

第5期2年間の任期中に開催する会議は、全体会8回のほか、各専門部会を10回程度、企画部会も10回程度を想定して、審議を進めています。公開会議以外にも、調査活動などを随時行っています。進行状況により、開催回数や開催形態は変動していきます。

1 全体会議などの開催の経緯

区民会議委員20名と、参与（区選出の市議会議員、県議会議員）、事務局（区長、副区長ほか区役所職員）が一堂に集まり、その時点までの審議経過を報告、意見交換を行う会議が、全体会議です。平成26年度は4回の全体会議を開催しました。区民会議全員が集まる会議は、このほか事前打ち合わせ会と3回の準備部会を開催しています。

事前打ち合わせ会

4月3日(木) 18:00～20:00 区役所4階大会議室 出席委員：18名

▶各委員の自己紹介

氏名、所属団体などとともに、各自が考える地域の課題について発表しました

▶区民会議勉強会

市の自治基本条例、区民会議条例について学び、区民会議の活動目的やこれまでの取組について共有しました

▶地域課題把握アンケートを配布

第1回全体会議

4月25日(金) 18:00～20:00 区役所4階大会議室 出席委員：19名 傍聴：4名

▶委嘱式

▶委員長・副委員長の選出

互選により、委員長に宮崎孝委員、副委員長に川田和子委員、佐々木良司委員が選出されました

▶地域課題把握アンケートの結果発表

アンケート結果から抽出された48の地域課題を発表、各委員から説明がくわえられました

委嘱式を経て、
正式に第5期が
スタートしました



第1回準備部会

5月26日(月) 18:00～20:00 区役所4階大会議室 出席委員：19名

▶審議テーマ選定に向けた課題の整理等

48の地域課題から内容の重複、事業実施済み／実践中の課題を整理、33課題に絞り込みました
「緊急性」「実現性」「優先度」などテーマ選定に向けた指標や考え方等を確認しました
33課題に対し、委員一人2票で「今期、区民会議で審議したいと思う課題」に投票しました

第2回準備部会

6月27日(金) 18:00～20:00 区役所4階第4会議室 出席委員：17名

▶審議テーマ選定への投票結果の確認

33課題への投票結果について、「高齢者福祉」「こども・子育て」「地域コミュニティ」「魅力発信」
「中長期的課題」の5分野18課題に再編し、確認しました

▶審議テーマ選定に向けた討議

投票結果から「高齢者福祉に関する取り組み」「宮前区遺産の選定」の2部会設立を提案、議論しましたが、結論にいたりませんでした

第3回準備部会

7月30日(水) 18:00～20:00 区役所4階第4会議室 出席委員：19名

*第2回準備部会において専門部会設立に向けた審議テーマの絞り込みに至らなかったため、臨時で開催しました

▶都市計画マスタープラン勉強会

中長期的な都市計画について共通認識を持つため、都市計画マスタープランについて学びました

▶審議テーマの選定

第2回準備部会の議論を再開、最終的に

「高齢者問題を中心に、子育てや地域コミュニティなど生活に身近な課題の解決」

「文化・歴史遺産選定などをきっかけに地域の魅力を伝え、次世代のためのまちづくり」

の二つをテーマとして専門部会を設立することを確認しました

▶専門部会所属アンケートの実施

専門部会の所属希望について、各委員にアンケート調査を実施しました



準備部会は3回実施、
全員で課題などを共有できました

第2回全体会

8月29日(金) 18:00~20:00 区役所4階大会議室 出席委員：16名 傍聴：1名

▶専門部会の発足

「(仮称) 高齢者問題に関する取り組み」の部会 (略称：(仮称) 高齢者部会)

「(仮称) 魅力発信と次世代まちづくり」の部会 (略称：(仮称) 次世代部会)

の二つの専門部会を立ち上げ、各委員の所属部会をアンケート調査結果等に基づき決定しました

▶審議テーマに関する意見交換

▶過去の区民会議提案の事業化等状況報告

第3回全体会

10月30日(木) 18:00~20:00 区役所4階大会議室 出席委員：16名 傍聴：2名

▶川崎市 新たな総合計画の策定について (川崎市総合企画局からの説明)

▶専門部会審議結果報告・質疑応答・意見交換

両部会から第1回・第2回の会議における審議結果として、課題解決提案の方向性(案)、区内外の先進事例の調査計画等が示され、意見交換しました

▶区民会議フォーラムについて

年度末に開催する区民会議フォーラムについて企画の素案が示され、日程の第一候補を3月15日(日)とすること、パイロット事業(試行取り組み)等の企画を検討していくことを確認しました

第4回全体会

2月3日(火) 18:00~20:00 区役所4階大会議室 出席委員：19名 傍聴：3名

▶専門部会審議結果報告・質疑応答・意見交換

(仮称) 高齢者部会…コミュニティカフェ視察会実施報告(全2回)等

(仮称) 次世代部会…みやまえ路線バス途中下車の旅(全3回)実施報告等

▶区民会議フォーラムの企画について

3月15日(日)開催の区民会議フォーラムの開催目的、企画内容等について、企画部会案を基に議論しましたが、結論にいたらず、企画部会(拡大版)で再度検討することとしました

全体会ではプロジェクターによるスライド投映を採用し、視覚的にもわかりやすい会議にしました



2 企画部会開催の経緯

区民会議の審議は専門部会を中心に行われていきますが、各部会の審議状況の確認や情報共有、審議内容の事前調整、全体会議の内容などを話し合うために、「企画部会」を設置しています。企画部会は、委員長と2名の副委員長、そして各専門部会の部会長、合計5名で構成されます。また、審議内容によっては、ほかの委員が含まれることもあります。

第5期宮前区区民会議では、通常の企画部会を3回開催したほか、区民会議フォーラムの企画内容等を検討するために、全委員を参加対象とした企画部会（拡大版）を2回開催しました。

第1回企画部会

9月8日[㊦] 16:00～18:00 区役所4階第3会議室 出席委員：2名

▶第1回専門部会の議事内容の確認

専門部会の開催に先立ち、部会メンバー、審議の進め方、部会長の選出方法等について確認しました

第2回企画部会

10月23日[㊦] 10:00～12:00 区役所4階第1会議室 出席委員：4名

▶専門部会の審議経過の確認

第1回・第2回の各専門部会の審議状況、今後の方向性、全体会への報告内容等を確認しました

▶第3回全体会議の進行について

第3回全体会議の次第、進行、議事等について、討議・決定しました

第3回企画部会

1月14日[㊦] 16:00～18:00 区役所4階介護認定審査室 出席委員：4名

▶専門部会の審議経過の確認

各専門部会の審議経過、コミュニティカフェ視察会や路線バス途中下車ツアーの試行の実施結果、今後の方向性、全体会への報告内容等を確認しました

▶第4回全体会議の進行について

第4回全体会議の次第、進行、議事等について、討議・決定しました

▶区民会議フォーラムの企画について

3月15日（日）開催予定の区民会議フォーラムの開催目的・企画内容等について、全体会への提案内容を討議。「ふれあいカフェ」や「路線バス途中下車の旅体験」等の試行取り組みを盛り込んだ案をまとめました

第4回企画部会（拡大版）

2月12日^{（木）} 15:00～17:00 区役所4階第2会議室 出席委員：7名

*参加委員が多く、審議内容が充分でなかった「(仮称) 高齢者部会」を中心に検討を進めました

▶地域見守り・支え合い先進事例紹介VTRの視聴

「集合住宅団地支え合いのすすめ（全国コミュニティライフサポートセンター制作）」を視聴しました

▶(仮称) 高齢者部会の部会名・取り組みの方向性の検討

正式部会名称を「誰もがぐらしやすいまちをめざす部会」と決定。対象を高齢者に限定せずに、地域包括ケアや見守り・支え合い、地域で気軽に集える場の創出等を考えていくこととしました

▶区民会議フォーラムの企画の検討

誰もがぐらしやすいまちをめざす部会の企画として、先進事例の紹介、カフェ形式のテーブル討議等の案を検討しました

第5回企画部会（拡大版）

2月16日^{（月）} 13:00～17:00 区役所4階第2会議室 出席委員：12名

▶区民会議フォーラムについて

区民会議フォーラムの企画について、以下のように決定しました（詳細は第5章21ページを参照）

- ①「みやまえ魅力探訪ツアー」…宮前の魅力を現場で体験、2コースで午前中から開催
- ②「語り合いカフェ」…各専門部会の審議テーマに関する話題について参加者と語り合う
- ③「全体会」…区民会議からの活動経過報告・質疑応答・意見交換

その他、フォーラムにおける委員の役割、広報・参加呼びかけ対象等について討議しました
3月5日（木）に区民会議フォーラムに向けた事前打合せの開催を決定しました

▶(仮称) 次世代部会の検討

正式部会名称を「みやまえ魅力探訪部会」と決定しました

第3章

誰もがくらしやすいまちをめざす部会

通称 暮らし部会

誰もが住み慣れた地域、本人が望むところで、
安心して暮らし続けることができるまちにするために、
地域活動が活発な宮前区らしく、
地域住民、公的機関、民間事業者などが連携して「地域包括ケアシステム」を
作り上げていく社会を目指します。

部会長 川畑 武敏

1 これまで審議してきたこと

9名の委員によって構成される「誰もがくらしやすいまちをめざす部会（暮らし部会）」では、これまで3回の会議と、2回の現地視察会を開催して、調査・審議を進めてきました。

第2回の会議では、宮前区役所の高齢・障害課長を招き、地域包括ケアに関する理念、川崎市の施策の現状等について伺う機会もつくりました。

委員からは「宮前区の地域の特徴を活かし、地域にあった宮前区版の地域包括ケアシステムをつくれな
いか」などの意見が上がっています。

第1回 誰もがくらしやすいまちをめざす部会

9月25日(木) 18:00～20:00 区役所4階第2会議室 出席委員：6名

▶審議の進め方について

目標時期、事例見学会や現状調査の実施、試行取り組みの実施等審議の進め方を確認しました

▶審議テーマに関する意見交換…宮前区の現状・課題・解決の方向性・区内外先進事例等

地域包括ケア、小地域での交流・社交の場・居場所づくり、世代間交流等の重要性が指摘されました
区内事例・視察候補として、認知症カフェや交流サロン、活動団体等を具体的に検討しました

第2回 誰もがくらしやすいまちをめざす部会

10月14日(火) 18:00~20:00 区役所4階第2会議室 出席委員：8名

▶高齢者福祉、地域包括ケアシステム等について

宮前区役所 高齢・障害課長から「(仮称)川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」の説明を受け、重点施策や、中学校区程度の範囲地域の設定などを学びました

「川崎市介護保険執行状況」等の統計を確認、高齢者施設の多さや、男性の市町村別平均寿命が全国2位であることなどの宮前区の特徴も確認しました

▶審議テーマに関する意見交換…宮前区の現状・課題・解決の方向性、区内外先進事例等

認知症対策、新たな人材の発掘、拠点(居場所・たまり場・相談場所)づくりの重要性などが重ねて指摘されました

▶部会長の選出

互選により、川畑委員を部会長として選出しました

第3回 誰もがくらしやすいまちをめざす部会

11月13日(木) 18:00~20:00 区役所4階第3会議室 出席委員：7名

▶地域の見守り・サロン活動の事例研究

土橋カフェ、ミニディ宮崎、野川セブン、ふれあいサロン・さつか(以上区内事例)

「よりそいノート」(県取組)、ユニヴァーサルスペース b-café 麦(高津区)

▶審議テーマに関する意見交換…理想的な地域の見守り・交流の場について

参加者のきっかけづくり、認知症の予防、交流やふれあいのあり方などについて意見交換しました

▶今後の進め方

認知症カフェ、地域の支え合い等の事例見学実施を決定し、訪問対象候補をリストアップしました



認知症や高齢者の方の情報を共有し、地域で連携して支えていくための「よりそいノート」

2 調査活動の報告（コミュニティカフェ視察会）

「誰もがくらしやすいまち」を目指した話し合いを進める中で、委員から「認知症の方やそのご家族を地域で支えていく仕組み」や「地域で支え合っていくための第一歩として互いに顔が見える関係づくりにつながる地域の拠点（居場所・たまり場・相談場所）」の重要性を指摘する意見が度々出されました。

そこで部会では、これらに先進的に取り組む事例として、認知症カフェやコミュニティカフェ等の事例について現場を視察し、関係者にお話しを伺う「コミュニティカフェ視察会」を企画・実施しました。

第1回 コミュニティカフェ視察会

12月16日(火) 12:30～16:30 出席委員：7名

▶視察①かわさき記念病院 宮前区潮見台20-1

市内唯一の認知症疾患専門病院（H26年5月開設）のデイケアの様子、入院病棟の設備等を見学

▶視察②潮見台カフェ かわさき記念病院内レクリエーションルーム

厚労省が普及推進する「認知症カフェ」の区内の先進事例（月1回開催）の現場見学・参加
管理栄養士のミニ健康講座「年末年始の食生活」、お茶菓子サービス、レクリエーション等を体験



〔委員コメント〕お茶菓子のおもてなしが嬉しかった。ミニ講座やレクリエーションなどプログラムが工夫されていた。など

▶視察③みたまちもりカフェ 多摩区三田1-12-1

市民団体「三田サポートわなり」と明治大学まちづくり研究所の協働コミュニティ・スペースカフェの現場見学の他、関係者に活動実態、設立経緯、運営状況等を伺いました

○マンション1階のスペースで、コミュニティカフェ、住まい・暮らしの相談、地域活動等展示スペース、趣味やサークル活動、講座など貸しスペースとして運営。12月平日はほぼ活用

○運営費用は補助金等活用、「研究施設」運営期間終了後の運営費用獲得が課題



〔委員コメント〕貸しスペースや展示スペースなど、地域にかなり活用されていた。運営費用の獲得のむずかしさを改めて感じた。部会では気軽に簡易な形のたまり場を目指したい。など

第2回 コミュニティカフェ視察会

12月17日(水) 13:00～15:00 出席委員：4名

▶視察④すずの家 宮前区馬絹1238

福祉ボランティアグループ「すずの会」が運営する交流の場、民家改修型の介護予防デイサービス施設を見学しました。代表の鈴木さんには活動実態、設立経緯、運営状況などを伺いました

- 空き家を借り上げ平成26年4月に開設。初期設備投資は約70万円
- 厚労省の都市型介護予防のモデル事業にも指定をうけた
- 週2回朝～夕、近所の独居老人が集まり、ゆるやかに交流。昼食・入浴等のサービスも提供
- 当日は参加者10名程度+ボランティア6名。訪問時は居間の長テーブルで雑談や手芸など
- 昼食・入浴等のサービス料だが全額払っていただける方は3割。(経済事情等によるもの)
- ボランティアは送迎を除き、基本無償。二世世代で関わるなど、人材の輪が地域に深く根付く
- 「すずの会」の20年近くに及ぶ地域に根差したボランティア活動で築いた人脈が基盤
- 地域の約580人の高齢者の情報、交流の場のニーズなどは事前に把握していた
- 重度の鬱患者や入退院を繰り返していた人も元気でほがらかになる。改善率120%
- 本音のつきあい、信頼関係が大切。近所づきあいの延長が理想



〔委員コメント〕一つの理想形であるが、他地域で一朝一夕に真似はできない。核になっているスタッフの熱意、行動力がすごい。「近所づきあいの延長が理想」という言葉に感銘を受けた。など

3 今後一年間の審議の方向性について

地域包括ケアシステムが掲げる「誰もが住み慣れた地域や本人が望む場所で、安心して暮らし続けられるまち」を作り上げるために、暮らし部会では、地域で誰もが気軽に集い、交流し、支え合える「居場所」づくりが重要であると考えています。

しかし、むだに空間としての場所を作るだけでは人は集いません。まちで活躍している方々の体験談や、先進的な取り組みの研究をさらに進めながら、宮前区らしい居場所づくりを考え、これを実現できるような方法を探り、提案に結び付けたいと考えています。

第4章

みやまえ魅力探訪部会

通称 魅力探訪部会

宮前区には、歴史、自然、文化、名産品など、

各分野で素晴らしい魅力がたくさんあります。

宮前区を活発にするため、そしてさらに魅力あるまちにするために、

地域の方々だけでなく、遠くから訪れるひとたちにも、

それらを発信していく方法を探ります。

部会長 青柳 和美

1 これまで審議してきたこと

10名の委員によって構成される「みやまえ魅力探訪部会（魅力探訪部会）」では、これまで3回の会議と、3回の現地視察会を開催して、調査・審議を進めてきました。

「宮前区の地域の様々な資源を、いかに区内外の方々に知って、体験してもらい、地域活動への参加や郷土愛の醸成につなげるか」という点に議論が集中してきており、様々なアイデアを出し合っています。

第1回 みやまえ魅力探訪部会

9月26日(金) 18:00~20:00 区役所4階第3会議室 出席委員：9名

▶審議の進め方について

目標時期、事例見学会や現状調査の実施、試行取り組みの実施等審議の進め方を確認しました

▶審議テーマに関する意見交換（ワールドカフェ形式…2テーブルでメンバーを入れ替えながら、4ラウンドで議論）

ラウンド1 & 2：今を語ろう

背景・現況…地域格差、伝統文化・行事、活発な市民活動、豊かな緑、外向きの生活圏など

課題…地域活動魅力UP、人材育成・コーディネート、緑・農地の活用、交通アクセス改善など

ラウンド3 & 4：未来を語ろう

課題解決の方向性・理想の姿…生活圏単位のコンパクトコミュニティ、地区の特徴を活かす、

多世代居場所・学びの場づくり、IT活用の情報発信、土産物プロデュースなど

区内事例…道親ネットワーク、コミュニティバス、菅生手つなぎまつりなど

▶部会長の選出

出席委員による投票の結果、青柳委員を選出。本人の承諾により決定しました

第2回 みやまえ魅力探訪部会

10月21日(火) 18:00～20:00 区役所4階第1会議室 出席委員：10名

▶審議テーマに関する意見交換

宮前区の課題…世代間交流・地域人材の育成、地域魅力UP・情報発信、災害発生時の助け合い、交通インフラの改善

課題解決の方向性・アイデア…新たなアイデアとして、夏休み自由研究ブック、宮前バスツアー
区内事例…新たな事例として、こ文まつり、土橋小ふれあいマンデー、小学校授業での地域との交流、町会福祉部の活動など

▶今後の進め方

区内資源めぐりバスツアー…3コース程度で11月中を目標に実施、地域資源を体験することを決定

***この間に「みやまえ路線バス 途中下車の旅」を3コースで試行実施（詳細次ページより）**

第3回 みやまえ魅力探訪部会

12月22日(月) 18:00～20:00 区役所4階第2会議室 出席委員：9名

▶「みやまえ路線バス 途中下車の旅」ふりかえり

感想…資源の魅力を実感できた。更に多様なツアーの可能性がある。

バスと歩きの旅だからこそその臨機応変に立ち寄れた施設や場所もあった。

関係者の案内・解説、予定していなかった資源の発見などが良かった。

ツアーの充実に向けたアイデア…橘樹郡衙関係で高津区と連携、お得感のある食べ歩きツアー、物語性や意外性、見つけにくい資源の探索ゲーム、セグウェイツアー、定期的な企画と実行など
案内・表示・PRの充実策…宮前カルタモチーフ看板の整備、動画作成、区内外へのアピール、「みやまえ」と冠した名産物のプロデュースなど



第3期の宮前区区民会議の提案を基に制作された「みやまえカルタ」では区内のたくさんの資源が紹介されている

2 調査活動の報告（みやまえ路線バス 途中下車の旅）

宮前区の資源の多様性や素晴らしさを語り合い、そのアピール方法等を検討していく中で、「まだよく知らない資源の魅力を体験したい」「体験することで、プロデュース方法のアイデアも生まれてくるのではないか」というような声が委員の中で高まってきました。

そこで部会では、第3期の宮前区区民会議の提案を基に制作された「みやまえカルタ」等で紹介されている資源を中心に、区内の様々な名所・史跡等をバス路線と徒歩でめぐり、体験するツアーを「歴史」「自然」「グルメ」の3テーマで企画、委員自らこれを体験してみました。

宮前区区民会議次世代部会プロデュース

みやまえ路線バス 途中下車の旅

まちの魅力を発見するには、自分の足でまわること！
でも坂道はちょっとキツイので、路線バスも使って、
“みやまえ”の魅力を巡ります。

Course:01

みやまえ歴史探訪・タイムスリップ体験

現代の役場である「宮前区役所」から、大和政権統治下の役場である「橘樹郡衙」までを徒歩とバスで巡るツアー。
その途中では、時代を語りながら、名所旧跡をたどります。



宮前区区民会議 魅力発見と次世代まちづくりの部会

宮前区区民会議次世代部会プロデュース

みやまえ路線バス 途中下車の旅

まちの魅力を発見するには、自分の足でまわること！
でも坂道はちょっとキツイので、路線バスも使って、
“みやまえ”の魅力を巡ります。

Course:02

みやまえを流れる川を辿って

宮前区には、区内にその源を発する川がいくつかあります。
平瀬川、有馬川、矢上川。そして、それぞれの川沿いには、
自然や歴史などの景どころがたくさんあります。



宮前区区民会議 魅力発見と次世代まちづくりの部会

宮前区区民会議次世代部会プロデュース

みやまえ路線バス 途中下車の旅

まちの魅力を発見するには、自分の足でまわること！
でも坂道はちょっとキツイので、路線バスも使って、
“みやまえ”の魅力を巡ります。

Course:03

旅はやっぱり、グルメめぐり

宮前区のお土産をプロデュースしたい！
そんな提案もありました。
そのためにも、まずは宮前区の名産品を巡る旅をしてみよう。



宮前区区民会議 魅力発見と次世代まちづくりの部会

みやまえ路線バス 途中下車の旅① みやまえ歴史探訪・タイムスリップ体験

11月20日(木) 9:00～15:00 出席委員：6名

宮前区役所前集合

バス 宮06 虎の門病院分院行き 宮前区役所前→虎の門病院分院

▶宮崎大塚古墳…民家の庭先の古墳に立ち寄り見学。頂上部に「馬絹大塚供養塔」

▶川崎市青少年の家…施設内に武蔵野音頭歌碑、お化け灯籠、禅寺丸柿の木など逸話ある史跡



みやまえ路線バス 途中下車の旅① みやまえ歴史探訪・タイムスリップ体験 (つづき)

- ▶ **陸軍東部62部隊**…宮前区にあった陸軍の演習場、その名残である軍票が宮崎台地区に点在
- ▶ **地場産野菜販売所**…採れたて野菜を販売する100円ショップを発見、立ち寄って店主と話しました



- ▶ **馬絹古墳公園**…7世紀頃のものとして推定される円墳跡が公園になっている。県指定史跡
- ▶ **馬絹神社**…元女躰権現社、宮前区の「宮」の由来。境内に「千年の松（頼朝 袖掛けの松）」など



バス 杉09 小杉駅前行き 上野川→影向寺

- ▶ **影向寺**…1300年近くの歴史を持つ県内屈指の天台宗古刹。境内には霊石影向石や力石、乳銀杏など逸話ある史跡、薬師堂は県重要文化財
- ▶ **橘樹郡衙跡【たちばな古代の丘緑地、橘樹郡衙跡石碑】**…奈良・平安時代の武蔵国橘樹郡の役所跡。高津区が散歩道や案内板を整備



バス 鷺02 鷺沼駅行き 影向寺→鷺沼駅

みやまえ路線バス 途中下車の旅② みやまえを流れる川を辿って

11月21日(金) 9:00~16:00 出席委員：7名

宮前平駅集合

- ▶土橋神社・正福寺・土橋観音堂～鎌倉古道…古くからの街道を道中の寺社を見ながら歩きました
道中マンションの屋上に自由に女神を発見、ユニークな風景？



バス 溝15 溝口駅南口行き 犬蔵→向ヶ丘出張所

- ▶平瀬川沿い散策…平瀬川沿いを歩く。魚道や親水空間が整備されている箇所も確認
- ▶とんもり谷戸…夏にはホタルの飛翔も観察できるせせらぎ、活動団体の案内で散策
- ▶蔵敷親水公園…多自然型工法で整備された親水公園



- ▶中央卸売市場北部市場…川崎北部の台所。新鮮食材を使った食堂で昼食をとりました
- ▶菅生緑地東地区…北部市場の騒音の緩衝帯として整備された広大な緑地、春は花見客でも賑わう
- ▶菅生緑地西地区（市民健康の森・水沢の森）…市民活動団体による里山整備活動、自然体験学習等が展開される緑地、関係者の案内で水源地なども見せていただきました
- ▶はぐるま稗原農園…社会福祉法人「はぐるまの会」の都市型福祉農園、障がいを持つ方々が共同生活



みやまえ路線バス 途中下車の旅③ 旅はやっぱり、グルメめぐり

11月26日(水) 9:30~15:30 出席委員：4名

向丘酋長所前集合

- ▶大木養鶏場「うみたて卵」…品質重視のブランド卵「HE-BARA NO MEGUMI」
- ▶べったこ 本社・物流センター…棚井や横浜市内に展開の居酒屋チェーン。オリジナルのお漬物や焼酎、鍋の素等が購入可能（当初予定にはありませんでしたが、道中発見して立ち寄りました）



バス 生01 宮前平駅行き 稗原→溝口駅（乗り換え） 城11 新城駅行き 溝口駅→野川

- ▶甘納豆の駿河屋…昔ながらの甘納豆、ココアや抹茶などオリジナル商品も。かわさき名産品

バス 鷺02 鷺沼駅行き 野川→三田橋

- ▶発酵蔵カフェかもし堂…発酵商品に拘ったカフェで昼食 *その後、川崎区に移転
- ▶デリスタスエヒロ…鷺沼駅近くの惣菜屋、みやまえC級グルメグランプリ受賞店、地元野菜販売も

バス 梶01 梶ヶ谷駅行き 鷺沼駅→宮前

- ▶カーディナル川崎製菓工場…銀座等にも卸している製菓工場、宮前ロールが人気



3 今後1年間の審議の方向性について

路線バスツアー試行などであらためて実感した宮前区内のすばらしい資源、まちの魅力を、区内・区外問わずより多くの皆さんに知っていただき、体験していただく取り組みの検討を進めます。

特に若い世代やこれまで地域に関わっていないひとたちが、まちを好きになり、ずっと住み続けたいくなるような提案の検討が必要と考えています。

また、魅力発信の手段としては、これまでの冊子製作のみにとらわれず、インターネット・SNSなどの活用のほか、関心のある地域の皆さんとともに伝えていく方法などを研究し、具体的な提案につなげていきたいと考えています。

第5章 みやまえ区民会議フォーラム2015

このまちの 魅力とくらしを 語り合うフォーラム

1 企画の概要

宮前区区民会議では、地域の皆さんに①審議調査活動を報告すること、②「区民会議」をもっと知っていただくこと、③区民会議の取り組みに意見をいただき、参加していただくこと、の主に3つの目的で、「区民会議フォーラム」を毎年、年度末に開催しています。

今年度は、各専門部会での審議が始まったばかりで、具体的な取り組みの方向をこれから決めていくところであるため、特に③の目的に重点をおいて開催することを、第3回・第4回全体会議で決定しました。

企画の内容を決めるために、企画部会1回、拡大版企画会議を2回開催し、この他に有志による開催直前打ち合わせ会も開催、入念に議論を交わしました。その結果、次のような企画を決定、開催しました。

開催日：平成27年3月15日（日）

①みやまえ魅力探訪ツアー（路線バスミニツアー／各地現地ガイドつき）10:00～14:00

まちの魅力を語るためのネタ探し。地域資源の魅力を直接体験、理解を深めるツアー

Aコース：影向寺・橘樹郡衙跡～甘納豆駿河屋～南野川ふれあいの森（昼食）～区役所

Bコース：水沢の森～平瀬川～とんもり谷戸（昼食）～区役所

②語り合いカフェ（区役所4階大会議室） 13:00～15:00

お茶やお菓子のおもてなし、気軽に和やかなカフェの雰囲気、語り合う場

13:30～14:00は話題提供として、地域支え合いに関するミニ講演、事例紹介映像放映を実施

14:00過ぎから、後方でツアー写真スライドショーを投影

③区民会議フォーラム全体会（区役所4階大会議室） 15:15～15:45

第5期宮前区区民会議審議経過報告 質疑・意見交換

④その他の企画

スペシャルパフォーマンス 区内在住中学生による二胡の演奏 15:00～15:15（休憩時間中）

会場展示 カフェ周辺等で関連テーマや区内資源の展示

宮前特産弁当の提供（ツアー参加者、スタッフ）

第5期宮前区区民会議フォーラム2015

このまちの
魅力とくらしを
語り合うフォーラム

入退場自由 参加無料

まちの課題解決を目指して審議を進める「区民会議」は第5期がスタートしてちょうど1年。今後の審議を進めていくために、まちの皆さんからいろいろなご意見やアイデアをお伺いする場として「区民会議フォーラム」を開催します。

和やかなカフェの雰囲気、このまちの魅力と、誰もがくらしやすいまちの姿を、話し合いませんか。どんなでも、お気軽にお越しください。

二胡の演奏会
くつろぎのひとつ

みやまえの魅力と
ドリンクでおもてなし

最後までご参加で
感謝記念品
プレゼント!

3/15(日) 宮前区役所4階大会議室
川崎市宮前区宮前平2-20-5（住吉園市緑・宮前平新より徒歩6分）
13:30～16:00（開場13:00）

語り合いのテーマ例
会場ではお茶やお菓子とともに、気軽に雰囲気、今年区民会議の審議テーマを踏まえてこのような話し合いを予定しています。

＊誰もがくらしやすいまちにするために
★「地域包括ケアシステム」って何？
＊子どもも高齢者も暮らしやすい、互いに支え合う地域にしたい
＊わたしが知っている、このまちの魅力スポット♪
＊もっとまちの魅力をアピールしたい!

同時開催 ■みやまえ魅力探訪ツアー（路線バスミニツアー／現地ガイドつき）
区の名所探訪ツアーは徒歩ツアー。まちの魅力を語るためのネタ探しもしませんか？
両コースとも10時スタート、14時30分終了。ツアー終了後はメイン会場の語り合いに合流します。
コース① 影向寺～南野川ふれあいの森／コース② 水沢の森～平瀬川・とんもり谷戸
＊コースの順番や参加方法は未定です。詳しくはみやまえ区民会議ホームページ（2月下旬公開予定）をご覧ください。
＊ご来場、お待ちしております。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先 宮前区区民会議事務局（宮前区役所企画課）
でん 044-856-3136 / FAX 044-856-3119 / 0904-kajic@city.kawasaki.jp

みやまえ区民会議ホームページで
詳細情報を確認ください

宮前 区民会議

2 みやまえ魅力探訪ツアー

委員が「路線バス途中下車の旅」の試行実施等を通じて触れ、感じた宮前の魅力的な地域資源を参加者に体験していただくツアーとして2コースで企画しました。

各コース、区民会議委員がコースリーダーをつとめ、コース案内や時間管理等を行った他、各地の資源では関係者にガイド（案内・解説）をお願いしました。

みやまえ魅力探訪ツアー Aコース

10:00～14:00 出席者：9名 影向寺前集合

▶影向寺…ガイド：加藤住職

県内屈指の古刹を住職自らの案内で見学。通常は見ることのできない薬師堂の内部等も案内していただきました

「影向寺の薬師堂に入れて感動しました!!」「住職からお話しをいただき、大変有意義でした」

▶橘樹郡衙跡…ガイド：宮前観光ガイドの会・宮前の歴史を学ぶ会のみなさん

奈良・平安時代の武蔵国橘樹郡の役所跡一帯を観光ガイドの案内で見学しました

「郡衙の建物を再現保存し、市民のいこいの場にしてもらいたい」



▶甘納豆の駿河屋…ガイド：女将 瀬戸さん

定休日の店内・工場内を特別に見学。甘納豆の由来等、女将の瀬戸さんに説明いただきました

バス 鷺02 鷺沼駅行き 能満寺→稲荷坂

▶南野川ふれあいの森（南野川緑地保全地区）…ガイド：野川はあも 伊藤さん

里山自然の保全や観察、子どもたちの自然学習支援などの活動をしている伊藤さんにお話しを伺いました

「自然が残っていてとても楽しかった。ぜひいつまでも残してほしい」



バス 鷺02 鷺沼駅行き 稲荷坂→鷺沼駅（乗り換え） 鷺11 宮崎台駅行き 鷺沼駅→土橋

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

みやまえ魅力探訪ツアー Bコース

10:00～14:00 出席者：5名 水沢の森 高台

広場集合

▶水沢の森（菅生緑地西地区・宮前区市民健康の森）…ガイド：水沢森人の会 水野さん・佐藤さん

緑地の案内だけでなく、活動団体の定例の里山活動の現場も見学しました

「手入れされて人が集まれる里山がこれほどあるとは知りませんでした」「水源地が印象的だった」

▶平瀬川流域・徒歩散策…ガイド：平瀬川流域まちづくり協議会 松井さん

平瀬川流域を歩きながら、親水空間やまちづくりのお話を伺いました



バス 溝17 溝口駅南口行き 蔵敷→初山

▶とんもり谷戸…ガイド：平瀬川流域まちづくり協議会 松井さん

ホタルが生息するせせらぎや周辺の緑地、植物等を案内いただきました

「入口付近は知っていましたが、中にはすてきな森ができていて発見!!」



バス 溝18 溝口駅南口行き 初山→向丘出張所

(乗り換え) 溝15 宮前区役所前行き 向丘出張所→宮前区役所前

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

宮前特産弁当（協力：デリスタ スエヒロ）

宮前地場産野菜、第5回みやまえC級グルメコンテストグランプリ受賞メニュー「野菜まん菜ベジローフ」を盛り込んだ、この日のための特製おにぎり弁当をツアー参加者・協力者・スタッフでいただきました。



おしながき

- 一、ふきみそおにぎりと菜の花おにぎり
- 一、大根と手羽中の煮物
- 一、野菜まん菜ベジローフ
- 一、ほうれん草入り卵焼き
- 一、ブロッコリーとジャガイモのコロッケ

*野菜はほぼすべて地元産を使用

3 語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」

区役所の大会議室が手作りの飾り付け等で、居心地の良いカフェに早変わり。来場者を温かい飲み物やお菓子でおもてなし、このまちの魅力やくらしについて語り合う場を設けました。区民会議委員一人一人が各テーブルで地域の方々をお迎えし、いただいたお話しやご意見を記録しました。

最終的にはスタッフも合わせて、約60名もの方にお越しいただき、各テーブルの会話も盛り上がり、大変賑やかな場となりました。

会場周辺には区民会議委員が所属する団体や今回のフォーラムに協力いただいた市民活動団体の紹介資料や、区民会議のこれまでの取り組みなどの資料も展示しました。

語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」 宮前区役所4階大会議室 13:00～15:00

13:00開場 「語り合いカフェ」開店

13:30開会 川田副委員長あいさつ

▶お茶菓子の提供

6人～8人がけのテーブルに手作りの折り紙のお花などで飾り付け、飴やチョコレート、御煎餅などのお菓子を用意しました。飲み物は注文制でボランティアが用意し、各テーブルにお届けしました。

また、参加者には受付で「宮前名物のおやつ」引換券を一人1枚配布、宮前ロールと抹茶＆ココア甘納豆などが提供されました（引換は14:00過ぎから開始）



▶話題提供：地域支え合い

ミニ講演「地域包括ケアについて」…レストア川崎地域包括支援センター看護師 吉川佐織さん

事例紹介VTR①土橋カフェ NHK番組 「認知症わたしたちにできること」より

事例紹介VTR②横浜市栄区公田町団地 NPOお互いさまねっと公田町と交流サロンいこい

▶話題提供：宮前区の地域の魅力

みやまえ魅力探訪ツアー 写真スライドショー（会議室後方で投影）



テーブルでの語り合い記録から（一部抜粋）

■誰もががくらしやすい地域、地域包括ケア、地域の支え合い、などについて

- ・稗原団地は戸建て団地で、初期の入居者の方々が一斉に高齢化している、独居の人も多い
- ・認知症の方の見守りは容易でない。何か地域で組織的にできれば良い
- ・認知症の理解を広めることも重要。家族が見抜けないこともある
- ・マンション生活は隣人との関係が希薄
- ・高齢者以外にも、障がい者やシングルマザーなど困窮者はいる。皆が自分の問題として取り組む
- ・地域包括支援センターが充分地域に知れ渡っていない。もっと外に出て行ってほしい
- ・若い世代の人も役割を持たせることで、イベントなどへの参加率が高くなる
- ・他の団体と一緒に活動することで、子育てサロン活動への参加率が上がっている
- ・土橋カフェは、地域ケア会議の場で要望が出たことがきっかけで誕生した
- ・カフェの設置には場所の確保が第一
- ・団地で防災訓練を積極的にやっている、訓練を通じて要支援の人も把握できてくる
- ・他の人と肩肘はらない交流の場があることが必要。規模は小さくても良い
- ・神木町会の「コーヒーの会」には毎回40～50人が参加している
- ・あいさつ運動と一緒に、町内会・自治会が見守り等してはどうか



■宮前区の地域の魅力・資源、そのアピール、プロデュース方法、などについて

- ・資源への交通アクセス改善も課題、総合的な地区計画が重要
- ・道順等を示す「標識」や資源を解説する「看板」をもっと設置する必要がある
- ・看板のスポンサーを募る。企業名や出資者の名前を入れても良い。実行委員会をつくって管理する
- ・観光ボランティアの充実が必要。ガイドブックも改訂する（既存のものは使いにくい？）
- ・影向寺・橘樹郡衙の国の史跡に指定を記念したお菓子をつくってはどうか。土産店ができるとうい
- ・川を活かしたまちづくり。小中学校と連携する、子どもたちのふるさとづくり
- ・自然に関わる何かを増やす。子どもと大人が共に楽しめる場所にする、親子体験が重要！
- ・水沢の森は縄文の森でもあるので、専門の看板、竪穴式住居の再現などしてはどうか
- ・土器づくり、火起こし、古代人の食べ物づくり（どんぐり団子など）の縄文イベントを開催する
- ・区境を越えた連携が必要、市民の要望がカギになる
- ・小中学生の自由研究の夏休みツアーを企画する
- ・里山や川のツアー、ボランティア体験を私・公立問わず授業に活かせると良い。ニーズはあるはず
- ・ふるさとづくりは、豊かな遊び場づくり。自然とダイナミックに遊ぶことで、強く優しく育つ
- ・ガイドがあると情報に深みが増す、一人歩きだと素通りしてしまう魅力や景色に気が付かされる
- ・環境をテーマに学生・大人をターゲットにしたエコツーリズムを展開する
- ・全5・6回で「みやまへの自然めぐり講座」を開講する
- ・掲示板でおもしろ豆地域、トリビアなどを発信する



スペシャルパフォーマンス 二胡演奏 畑澤舞奈さん（区内在住）



語り合いカフェと区民会議フォーラム全体会の間の休憩時間に、区内在住の中学生、畑澤舞奈さんによる二胡演奏が披露されました。畑澤さんは中学生ながらも10年以上の演奏歴を持ち、第17回「長江杯」国際音楽コンクールで入選されるなどの実績をもっています。



♪演奏曲目♪

- ① 剣舞
- ② 何日君再来
- ③ 夜来香
- ④ 蘇州夜曲
- ⑤ ソングオブライフ(アンコール)

4 区民会議フォーラム全体会

スペシャルパフォーマンスとしての二胡演奏もあった休憩時間の後、最後に全体会を開催しました。佐々木副委員長、川畑部会長、青柳部会長から区民会議の概要とこれまでの各部会の審議・活動経過の報告、質疑応答の後、宮崎委員長の閉会あいさつで閉会となりました。

宮前区PRキャラクターの「宮前兄妹」や「カッチャん」も会場に駆けつけ、参加者の皆さんに記念品の「メロー&コスミン特製マグネット」を配りながら、お見送りしました。



■フォーラム参加者アンケート 自由記入欄等への記載から（一部抜粋）

- ・もっとゆっくりお話したかったです
- ・世代をこえた交流ができた事がよかったです
- ・カフェをオープンしようと計画しているので、土橋カフェの話をお聞きして参考になりました
- ・商店街などもまきこんで、日常生活を送る中で見守る目を増やすことが大切な気がします。
- ・いろんなツアーで宮前区をまわってみたいと思います
- ・小さな子どもからご高齢の方まで、歩いていけるコースを歩いてみたいです。
- ・影向寺、郡衙遺跡、古墳等をトータルで史跡観光としてアピールできれば良いですね！
- ・区の物品、特産品を売るコーナー(常設) がどこかにあると楽しいと思います
- ・町の枠を超えて参加できるようなイベントを企画した方が良い。

第6章 そのほかの活動報告

宮前区区民会議のおもな活動は、調査と審議であることはもちろんですが、このほかに広報活動や川崎市他区の区民会議との交流活動なども行っています。さらに、各部会の審議に関する専門知識を習得するために、さまざまな講演会や研修会への参加なども積極的に行っています。

1 「みやまえ区民会議だより」の発行

区民会議の周知広報を目的とし、審議状況等を掲載した「みやまえ区民会議だより」を発行し、町内会・自治会を通しての回覧や行政施設内での配布などによりPRしました。(資料編参照)

■第28号 8月1日発行号 A4版・4ページ ▶P31

掲載内容：区民会議活動開始、区民会議の流れ、委員紹介、これまでに実現した提案、など

■第29号 2月1日発行号 A4版・2ページ ▶P32

掲載内容：先進事例視察結果報告、区民会議フォーラム予告など

■第30号 3月31日発行号 A4版・2ページ ▶P32

掲載内容：専門部会名称決定、審議状況紹介、区民会議フォーラム速報など

2 「区民会議交流会」への参加

各区の委員が集まり、取組状況や運営方法の情報交換を行うとともに、相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげることを目的に7区の区民会議交流会が開催されました。

全市から84名が参加、宮前区からも14名が参加しました。



資料編

1 審議課題の選定と整理の過程

① 当初の8分野48課題…委員への「地域課題把握アンケート」から抽出

分野	No.	分類	課題	概要
分野① 防犯 防犯 交通 住環境	1	交通	交通環境整備	区北部・南部の交通アクセス不備
	2			区役所へのアクセス不便
	3			菅生地区は駅まで1時間 若い世代が流出
	4			区役所・市民館へのアクセス不便
	5		交通渋滞	鷺沼駅前の車の流れが悪い（特に土日）
	6		歩道の整備	自転車と歩行者、ベビーカー、手押し車の高齢者との接触事故
	7		コミュニティバス	東・中央・西に分断される地域、相互の交通不便
	8	防災	防災・減災	大災害発生に備えた防災・減災のまちづくり
	9		防災意識	直下型地震を想定した区民の防災意識、災害シミュレーション
	10		災害時の生活用水	平瀬川の神木周辺が災害時の利用が困難
	11	住環境	若者が住めるまちづくり	防災関連（避難路・場所の確認、水・食料の備蓄など）
分野② 地域福祉 健康	12	高齢者	認知症予防	超高齢化社会における認知症への対応
	13		病気予防・生きがい	孤立の増加。会話・笑顔・気力・覇気の喪失、認知力低下
	14		認知症・孤独死	増加する後期高齢者・認知症患者、孤独死への支援拡大
	15		高齢者の孤独化	核家族、孤立、引きこもりからくる心身機能低下、認知症発症など
	16		外出促進	高齢者が安心して外出できる環境づくり
分野③ 子育て 生涯学習 人権	17	子育て	引きこもり対策	子ども・成人の引きこもりからの社会復帰の困難
	18		幼児の外遊び	子どもの体力低下。緑の多い宮前区から重要性を発信
	19		冒険遊び場の継承	外遊びを、市民と行政で素晴らしいと思える地域づくり
	20		親子と地域	子育ての悩みを持つ親同士の話し合い、仲間づくり
	21		ベビーシッター問題	ネットで知ったベビーシッターに預ける危険性
	22		子育て環境整備	認定保育園、親子イベント、医療費助成、中学校給食
	23	世代間交流	高齢者と子ども	高齢者施設と保育所は多いが交流がない
分野④ エコ 自然 公園	24	公園	休日の憩いの場	都心や横浜に勤務する区民が休日にくつろぎ憩える場
	25		公園美化	公園にごみ箱がなく、ごみのポイ捨てが目につく
	26	自然	里山管理の支援	市民の手で守るための資金支援
	27		緑の減少	緑が毎年減少。開発等における市や区の制限
	28		ごみ問題	プラスチックごみの増加 ②ごみ箱・ごみ集積所
分野⑤ 産業振興	29	産業振興	宮前区工業会	区に工業会（産業振興会）がなく、産業基盤が脆弱
	30		働く場所の拡充	昼間人口を増やし、緊急事態対応や街の発展に寄与
分野⑥ 魅力発信 芸術振興	31	伝統文化	伝統の継承	若い世代の古典芸能への興味関心がなく、継承が困難
	32	魅力発信	若い世代の減少	向丘地区の高齢化、若い世代、世帯の減少
	33		区の特徴や魅力PR	魅力を知ることに住むまちに愛着や幸せを感じてもらう
	34		PRとまちの活性化	多くの人が宮前区を訪れてまちを元気にする
	35		着地型、物語型の観光	団体の課題・ノウハウを物語としてつなぐ、学生の参加
分野⑦ 地域 コミュニティ 区役所 サービス	36	世代間交流	共に生きるまちづくり	地域の活動団体同士の情報共有・連携不足
	37	地域 コミュニティ	総合的な委員会	現状の活動の社会的影響が低い、総合的な委員会で活性化
	38		市政だより・町内会	存在を知らない世帯や区民が多い。自治会加入の促進
	39		地域活性化	地域意識の希薄に対抗する町内・自治会活動の活性化
	40		居場所づくり	自宅と職場以外の第3の居場所づくり
	41		市民広場の活用	市民広場の多様性を持った活用。参加のハードルをさげる
	42		一人暮らし老人	団地で一人暮らしの老人。火事などでは近所の連携が大切
	43		活動拠点	公共施設は不便、雰囲気良くない、入りにくい、既得権益化
	44	市民活動	市民活動参加促進	地域市民とのコミュニケーション、市民の参加が少ない
分野⑧ その他	45	区民会議	第4期提案継続	テーマや内容を変更しながら継続、発展し、広く周知
	46		地域課題対応費	課題解決のために地域課題対応費を区民会議で活用
	47	中期的課題	区の核、施設など	人口の割には自己完結型の地区ではない
	48	広報	広報掲示板	掲示板の効果を高めて広報の充実を図る

② 5分野33課題…48課題から重複課題の統一や既存の取組との関係等を踏まえて整理

分野	No.	分類	課題	概要
分野A 防犯 防災 交通 住環境	1	交通	交通環境整備	区北部・南部の交通アクセス不備 若い世代が流出
	2		区役所へのアクセス不便	
	3		交通渋滞	鷺沼駅前の車の流れが悪い(特に土日)
	4	防災	歩道の整備	自転車と歩行者、ベビーカー、手押し車の高齢者との接触事故
	5		防災・減災	大災害発生に備えた防災・減災のまちづくり
	6		災害時の生活用水	平瀬川の神木周辺が災害時の利用が困難
	7		住環境	若者が住めるまちづくり 防災関連(避難路・場所の確認、水・食料の備蓄など)
分野B 地域福祉 健康増進 子育て 生涯学習	8	高齢者	認知症予防	超高齢化社会における認知症への対応
	9		病気予防・生きがい	孤立の増加。会話・笑顔・気力・覇気の喪失、認知力低下
	10		孤独化対策	核家族、孤立、引きこもりからくる心身機能低下、認知症発症
	11	引きこもり	引きこもり対策	子ども・成人の引きこもりからの社会復帰の困難
	12	子育て	幼児の外遊び啓発	子どもの体力低下。緑の多い宮前区から重要性を発信
	13		親子と地域	子育ての悩みを持つ親同士の話し合い、仲間づくり
14	ベビーシッター問題		ネットで知ったベビーシッターに預ける危険性	
分野C 環境 自然 公園	15	公園の活用	休日の憩いの場	都心や横浜に勤務する区民が休日にくつろぎ憩える場
	16	自然	里山管理の支援	市民の手で守るための資金支援
	17		緑の減少	緑が毎年減少。開発等における市や区の制限。
	18		ごみ問題	プラスチックごみの増加、ごみ箱・ごみ集積所
分野D まちの 魅力発信 産業の振興 芸術振興	19	産業振興	宮前区工業会	区に工業会(産業振興会)がなく、産業基盤が脆弱
	20	伝統文化	働く場所の拡充	昼間人口を増やし、緊急事態対応や街の発展に寄与
	21		伝統文化・芸能の継承	若い世代の古典芸能への興味関心がなく、継承が困難
	22	魅力発信	地域活動の広報	地域活動への参加が少ない。魅力ある地域活動の発信
	23		区の特徴や魅力PR	魅力を知ることに住むまちに愛着や幸せを感じてもらう
	24		着地型、物語型の観光	団体の課題・ノウハウを物語としてつなぐ、学生の参加
25	分野E 地域コミュニティ 市民自治の まちづくり		世代間交流	高齢者と子どもの交流
26		共に生きるまちづくり	地域の活動団体同士の情報共有・連携不足	
27		地域 コミュニティ	市政だより・町内会	存在を知らない世帯や区民が多い。自治会加入の促進
28			地域交流拠点創出	公共施設は不便、雰囲気良くない、入りにくい、既得権益化
29			市民広場の活用	市民広場の多様性を持った活用。参加のハードルをさげる
30		まちづくり 活動	総合的な委員会	現状の活動の社会的影響が低い、総合的な委員会で活性化
31		中期的な課題解決	高齢化、交通環境、施設不足などの課題解決のための検討会	
32		地域課題対応費	課題解決のために地域課題対応費を区民会議で活用	
33		区民会議	第4期提案継続	テーマや内容を変更しながら継続、発展し、広く周知

③ 2つの専門部会の立上げ…33課題に対する投票結果の整理から、審議テーマを選定

分野	課題	票数	
分野A 高齢者や障害者の 孤立防止と生きがいづくり	認知症対策	3	12
	生きがいづくり	4	
	孤独・孤立対策	4	
	引きこもり対策	1	
分野B 子育て世代のつながりとの びのび遊ぶ環境づくり	ベビーシッター	1	4
	子育て世代の交流	1	
	子どもの外遊び	2	
分野C 地域コミュニティの 活性化と憩いの場づくり	世代間交流	2	5
	自治会への参加促進	1	
	憩いの場づくり	1	
	交流拠点	1	
分野D 歴史を大切に、 その魅力を広く伝える	宮前区の歴史・文化・ 自然遺産の選定	4	6
	地域活動の広報	2	
分野E 次世代のために、 まちづくりを考える	交通問題	3	11
	若者が住める環境	1	
	自然環境の保護	2	
	課題検討部会	2	
	防災	3	

分類 A の高齢者問題を中心として、生活に身近な課題を解決する部会を設立

(仮称) 高齢者問題に関する取り組みの部会

文化・歴史遺産選定などをきっかけに魅力を伝え、次世代のためのまちづくりを考える部会を設立

(仮称) 魅力発信と次世代まちづくりの部会

第5期宮前区区民会議委員名簿

くらし 誰もがくらしやすいまちをめざす部会 **魅力** みやまえ魅力探訪部会 **企画** 企画部会

氏名		選出区分	推薦団体
副委員長	川田 和子 <small>カワダ カス子</small>	くらし 企画	団体推薦 宮前区自主防災組織連絡協議会
	青木 寅治 <small>アオキ トラジ</small>	くらし	団体推薦 社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
	大木 次郎 <small>オオキ ジロウ</small>	くらし	団体推薦 宮前区スポーツ推進委員会
	葛西 育子 <small>カサイ イク子</small>	魅力	団体推薦 宮前区子ども・子育てネットワーク会議
	中里 文雄 <small>ナカサト フミオ</small>	魅力	団体推薦 宮前区民生委員・児童委員協議会
	大槻 幹雄 <small>オツキ ミキオ</small>	魅力	団体推薦 宮前区地域教育会議
	本郷 一雄 <small>ホンゴウ カスオ</small>	魅力	団体推薦 グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
委員長	宮崎 孝 <small>ミヤザキ タカシ</small>	企画	団体推薦 宮前区商店街連合会
	笹川 進 <small>ササガワ シン</small>	くらし	団体推薦 宮前区文化協会
	山田 桂 <small>ヤマダ カツラ</small>	魅力	団体推薦 宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）
	黒澤 克貴 <small>クワザワ カツミ</small>	魅力	団体推薦 宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）
	田辺 洋一郎 <small>タナベ ヒロイチロウ</small>	くらし	団体推薦 宮前区まちづくり協議会
	細谷 章子 <small>ホソヤ アヤ子</small>	くらし	団体推薦 宮前区まちづくり協議会
	滝本 久美 <small>タキモト キクミ</small>	魅力	団体推薦 みやまえ情報ラボ
部会長	川畑 武敏 <small>カワハタ タケシ</small>	くらし 企画	公募
部会長	青柳 和美 <small>アヲヤナギ カスミ</small>	魅力 企画	公募
	太田 公子 <small>オオタ キミ子</small>	くらし	区長推薦
副委員長	佐々木 良司 <small>ササキ リョウジ</small>	魅力 企画	区長推薦
	鈴木 晴夫 <small>スズキ ハルオ</small>	くらし	区長推薦
	小田 育子 <small>オダ イク子</small>	魅力	区長推薦

参 与 *五十音順・敬称略・平成27年3月31日現在

市議会議員 浅野 文直 石川 建二 石田 康博 織田 勝久 添田 勝 竹田 宣廣

田村 伸一郎 矢澤 博孝 山田 晴彦

県議会議員 飯田 満 土居 昌司 持田 文男

3 みやまえ区民会議だより

① 第28号 平成26年8月1日発行

みやまえ区民会議だより



みやまえ区民会議だより
28号

平成26年8月1日発行
TEL: 044-856-3136
FAX: 044-856-3119

http://www.city.kawasaki.jp/miyamae/category/117-10-1-0-0-0-0-0-0.html



第5期宮前区区民会議の活動が始まりました。

▲野本区長から委任状を受け取る委員

4月25日(金)、宮前区役所の大会議室にて、第5期宮前区区民会議の第1回の会議が開催されました。

▲素晴らしい話し合いが行われた会議の様子

第5期宮前区区民会議の委員は、区内の市民活動団体や区長の推薦、公募等で選ばれた20人。(P2～3で委員のプロフィール、抱負などを紹介)委員長には宮崎委員、副委員長に川田委員、佐々木委員を互選で選び、活動がスタートしました。

？ 区民会議ってなに？

区民の代表が、区民の視点から、みんなが住みやすく、しあわせな宮前区をめざして話し合いや調査を行う会議です。

話し合った結果はどうなるの？

提案としてまとめ、区長に報告します。地域の人と区役所が協力しながら、実現を目指します。

区民会議の流れ

1 地域の状況を知る

地域の状況や様々な課題をまとめ、整理・分析します。

2 テーマを選ぶ

地域の課題の中から、審議テーマを複数テーマから決めます。

3 解決に向けて話し合う

先進事例調査をし、課題の解決策やアイデアを出し合います。

4 区長へ提案する

短い手やスケジュールなど、実現を見据えて、提案します。

5 課題解決に取り組む

地域と区役所が連携しながら、提案を実践します。

みやまえ区民会議だより

これまでに実現した提案にはどんなものがあるの？

平成18年度からの4期8年の宮前区区民会議の活動や提案から取組が実現したものの一例です。






公開休館の普及推進 転入者向け情報誌の発行 「みやまえカルタ」の作成 防災フェアの開催

第5期宮前区区民会議は今、どんな話し合いをしているの？

地域課題の抽出・審議テーマの絞り込み

4月25日(金)の第1回委員会では、事前アンケートで把握した、第5期の区民会議委員が普段の生活や市民活動から感じている48の地域課題が報告され、それぞれ挙げられた課題や地域への想いを語り合いました。

最終的には2つ程度の審議テーマに絞り込み、それぞれ専門部会を立ち上げて、集中的に審議していく予定です。話し合いの経過は今後も、この「区民会議だより」の紙面上でお知らせしてまいります。

専門部会の立上げに向けて

現在、類似課題やすでに区役所等で取り組みが行われている課題を省略したり、委員投票を行い、取り上げる地域課題の絞り込みを固めています。

最終的には2つ程度の審議テーマに絞り込み、それぞれ専門部会を立ち上げて、集中的に審議していく予定です。話し合いの経過は今後も、この「区民会議だより」の紙面上でお知らせしてまいります。

区民会議に関するお問い合わせやご意見はこちらへ

- ホームページで区民会議の経緯、スケジュール、過去の期も含めた会議資料や審議録等が公開されています。「宮前区区民会議」でご確認ください。
- 区民会議の全体会は先着50名、専門部会は会場より先着5～10名まで**会場の確保が可能**です。ご興味のある方はぜひ起こしてください。
- 区民会議に対するご意見、ご要望などお寄せください。今後の議論の参考とさせていただきます。

〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL: 044(856)3136, FAX: 044(856)3119,
メール: 69kikaku@city.kawasaki.jp

●今後の予定●

第2回

第5期宮前区区民会議

全体会

7/29(火) 18:00～19:30

区役所大会議室

第5期区民会議の審議テーマを決定し、専門部会の立上げを行う予定です。

みやまえ区民会議だより

どんな人たちが参加しているの？

第5期宮前区区民会議委員

平成26年度～27年度の2年間の任期とする「第5期宮前区区民会議」の20人の委員のプロフィールと抱負をご紹介します。(敬称略・順不同)

氏名(ふりがな) ①住所地 ②選出元 ③宮前区のことが好き ④区民会議での抱負

宮崎 孝 (みやざき たかし)

①馬橋2商店街連合会副会長が多く、家に2人暮らしながら数々の街の実現に向け、果敢な発想で取り組んでいます。

委員長

川田 和子 (かわた かずこ)

①学生3丁目の防災訓練連絡協議会副会長で、地域活動が盛んな私たちが暮らす宮前区が、住みやすい環境であるために、いろいろな分野から選出された委員とともに、さまざまな視点で検討していきます。

副委員長

佐々木 良司 (ささき りょうじ)

①土橋3区長推薦②湿度に街と自然の調和がとれており、マナーの良い街が多いところ③大きな街が無い区ですが、宮前区ならではの良さや、便利さをどうしたら実現できるか、考えていきたい。

副委員長

田辺 洋一郎 (たなべ ひろいちろう)

①東有馬2丁目まちづくり協議会②道がまっすぐでないところ③まなざま形で生活している人たちがもっと暮らしやすい「まち」になるような仕組みをつくってほしいと考えます。

副委員長

太田 公子 (おおた きみこ)

①宮崎の区長推薦②新任民にやさしく、女性が元気なところ③高齢者の方、障がいのある方、誰もが安心して暮らせることのできる「まちづくり」をめざしたいと考えています。

再任

山田 桂 (やまだ かづら)

①議選1丁目の全町会・自治会連合会(向丘地区)②緑と街並みが多く調和していること③社会状況が変化の中で早く安全で安心して住める街作り、市民活動等の方向性について宮前区を愛することを願っています。

再任

大木 次郎 (おおくい じろう)

①学生3丁目のスポーツ推進委員会②新しい街と里山が併存するところ③スポーツ推進委員の仲間から、住み良い街づくりを目指し、課題に取り組みます。

再任

青木 寅治 (あおき とらじ)

①野川の社会福祉協議会副会長が多く自然が残っている人と人の絆が深め、交流したい、助け合いの共助社会の実現のため頑張りたい。

再任

笹川 進 (ささがわ すすむ)

①野川の文協会②宮前区公共施設③朝に風船が、交通の利便性、駐車場対応、ホール使用時は舞台装置、音響、照明、楽屋、大家使い易く、大勢の区民の皆さんにわかってもらいたい。

再任

葛西 育子 (かさい いくこ)

①五所野2丁目子ども・子育てネットワーク協議会副会長が多く、人に優しい、楽しい街づくり支援に関わって20年になります。親子が地域の方々と繋がって子育てしやすい宮前区になってほしいと願っています。

再任

みやまえ区民会議だより

青柳 和美 (あおやぎ かずみ)

①有馬6丁目の公募新しいまちづくりを推進している自然の風土の中で憩える環境の海蔵、文化や歴史を伝介し魅力やPR等の活動をしていきたいです。委員の方々と協力していきたいと思っています。

再任

小田 育子 (おた いくこ)

①宮崎の区長推薦②樹木と花が多く四季を感じられる自然の中で憩える環境の海蔵、文化や歴史を伝介し魅力やPR等の活動をしていきたいです。委員の方々と協力していきたいと思っています。

再任

大槻 幹雄 (おおつき みさお)

①学生3丁目の地域教育会議副会長で、地につつまれたところ②住みよい、情緒のある地域へ、以前予定の「めざすべき都市像」の実現。即ち、豊かなコミュニティ、誰もが住み続けられるまち、交通の利便性アップ、災害に強いまちづくり。

再任

中里 文雄 (なかざと ふみお)

①野川の民生委員・児童委員協議会副会長で、いっしょに活動していく所②安心安全な町を基本に「魅力ある町・誰もが住みやすい町」そして「輝度も訪ねてみたい町」そんな宮前区になればと思っています。

再任

滝本 久美 (たきもと くみ)

①宮前平3丁目みやまえ情報ラボ子どもが多い。緑がいっぱい②みやまえ情報ラボでの区内の取材は地域の生きた情報を探した。顔の見える、生きた情報をもつた「まちの夕ヨコ」や「まちの賑わい」を、実践していきたいです。

再任

本郷 一雄 (ほんこう ひとし)

①学生3丁目のグリーンフォーラム21みやま世界会館③緑と川と商店が点在する面白さ④宮前区に特化した課題に地域課題対策の活用をお願います。配付には区長と区民会議委員とその他の専門家が与する方法です。

再任

黒澤 克實 (くろさわ かつみ)

①学生3丁目の全町会・自治会連合会(向丘地区)②ジョギングが楽しめる緑生緑地③各自治会の共通課題を検討し見解・提案について区民会議から自治会へ発信したい。提案内容が発達できるレベルになるか不安ですが頑張ります。

再任

川畑 武敏 (かわばた たけとし)

①小台2丁目公募②中級の生活環境であるところ③子どもから高齢者、障がいを持っていても、安全で安心できる宮前区独自の地域包括ケアシステムを構築していきたい。

再任

鈴木 晴夫 (すずき はるお)

①東有馬5丁目区長推薦②生まれ育った街が好きです。「住んで良かった」「これから宮前区に住みたい」と思っています。子育てしやすい宮前区にしたいです。

再任

細谷 章子 (ほそや ちかこ)

①宮前平2丁目まちづくり協議会副会長。緑地、公園などが多いこと②高齢者が多く、交通の便の良い宮前区です。みんなが住みやすいと思える「まちづくり」を提案できたらと思います。

再任

第5期宮前区区民会議

委員データ

男性 14名 女性 6名

団体推薦 14名 公募 2名

区長推薦 4名

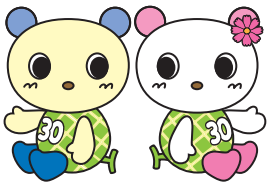
新任委員 15名 再任委員 5名

宮前兄妹

メロウ&コスミン

①くやくしよのメロウ②宮前区にたくさんある緑道③住むのが好きな地域からあげてほしい!!

コスミン



みやまえ区民会議2014-2015 中間報告書

発行 第5期宮前区区民会議
編集 宮前区区民会議事務局（宮前区役所企画課）
所在地 川崎市宮前区宮前平 2-20-5
でんわ 044-856-3136
FAX 044-856-3119
メール 69kikaku@city.kawasaki.jp